

一方で、わが社を見てまいりますと大事な整備士が育てる間もなく退職していくという大きな問題があります。

退職の原因の多いものから並べると、人間関係、技術向上の教育不足、待遇への不満であります。

本田宗一郎はこう言っておりました。

「車を修理する時は車だけ直してもダメだ。乗り手の心も修理してあげなくては」

残念ながら人間関係が悪い職場では、とてもじゃないけれどお客様の心を直すことなんてありません。

拠点で営業スタッフ、サービススタッフ関係なく、よく見かける光景です。

「おはようございます」と出社しても返事が返ってこない。

返事がないから翌日から無言で出社するようになる。

人を区別して挨拶していたり、しなかったりしている。

挨拶がないものだから、自分のこと嫌いなのかな？とか、あいつ生意気だなとか思ってしまい、

社員同士で疑心暗鬼になってしまう。

サービススタッフには是非ともリーダーシップをとって、人を思いやり、「明るく元気な挨拶」を心掛け

高い技術を目指すよう、共に学び教え合い、良好な人間関係を築き

「お客様の心も直せる」かけがえのない整備士になって欲しいです。

さて、待遇の面ですが、サービススタッフ（工場長も含む）対象に一律 3 万円を毎月支給したく考えました。

しかし、せっかくの機会なので、関心を持って取り組んでいただこうと支給条件に味付けをしました。

自分自身がやろうと思えば簡単に全員が支給される内容です。

皆さんに期待しております。

サービススタッフ「徳義心手当」支給

毎月の手当として最大3万円の支給 1項目1万円×3＝3万円

評価項目

- 1、社員全員に対して、明るく元気な挨拶ができる
- 2、3S（整理・整頓・清掃）が出来る
- 3、特定の人に偏らず、技術を教えたり、教えられたりしている

評価基準

評価対象：工場長、実習生を含むサービススタッフ全員
評価者：拠点サービス部門全員が多面評価でサービススタッフを評価する（最終承認は本社で行います）
評価方法：「できている」「できていない」の2択とする
支給基準：各評価項目毎「できている」の割合で支給額を決定する

割合	支給額
80%以上	10,000円
50%以上80%未満	5,000円
50%未満	支給なし

2022年1月より開始します（1月評価分は2月給与支給となります。勤怠と同じように翌月支給です）